

## リバ剣と人生の師



初音剣志塾で稽古

リバ剣とは、リバース剣道、つまり剣道復活の略です。ある日、高校時代のライバルで、現在は公私共々お世話になっている佐藤則子先輩から「由香ちゃん、剣道好きだよ。いろいろあつて嫌になつたかもしれないけど、剣道に罪はないよ。稽古はとても楽しいよ、復活してみない？」と誘っていただきました。則子先輩は私より1年早くリバ剣していました。剣道に罪はない。私が20年探していた言葉にただただ泣きました。

16年1月末に稽古を再開しました。面をつけた瞬間、母のお腹の中なかにいるような感覚がフワッと私を包み込み、涙が止まりませんでした。私の身体は剣道でできていることを実感した瞬間でした。

翌年、大学の後輩の近藤美保さんの紹介で、初音剣志塾塾長で初音幼稚園園長の高橋海有八段が主宰する福聚稽古会ふくくわいに参加。これが次の剣道の師との出会いでした。21年、高橋先生から温かいお声をいただきました、初音剣志塾にお世話になることにしました。

私の人生を回顧すると一つだけ自慢できることがあります。それは、先生運です。人生の節目に必ず師と仰ぐ素晴らしい先生との出会いがあります。共通点は、基本の大切さを説いていることです。先生方には感謝してもしきれません。

### 武道は心を映し出す鏡

数年前、日本体育大学出身で福聚稽古

会の稽古にいらしている古谷光一先生にお稽古を付けていただいた時のことです。古谷先生から「いつもは手元を上げることなく落ち着いて攻めるのに、今日は手元が浮いているように感じたよ」のお言葉。ハツとしました。その日は仕事でさまざまなことが重なり、もやもやした状態で稽古に参加していることを見事に見抜かれました。「先生、実は仕事でいろいろあり、今日は気もそぞろな状態で稽古しておりました。今日は心を整えて寝ます。ありがとうございます！」と嗜れ嗜れした気持ちで古谷先生にお礼を述べました。その次の日、全ての問題が円満に解決したことは言うまでもありません。

武道は心を映し出す鏡だと思います。無心でお稽古をお願いし、ご指導いただき、気付いていなかった未熟な心の状態に気付く。お言葉を素直に受け止め、改善し、仕事や生活に活かす。正に武道精神ここにあり、と思う出来事でした。